

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名

北広島町立大朝小学校

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

給食時間における食に関する指導では、配膳をする際につぎきり、つがれたものは食べきるという指導が徹底されており残菜はほとんどない。しかし、基本的な食事のマナーが身につけていない児童もおり、マナーの面で課題がある。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

生涯にわたって、健康でいきいきとした生活を送ることをめざし、児童一人一人が望ましい食生活の基礎・基本を身につけ、食べることを通じて、自らの健康管理ができるようにする。また、楽しい食事や給食活動を通じて豊かな心を育成し、社会性を養う。

短期目標：健康・食に関する指導を充実し、食への関心を高め、望ましい食生活を身につける。

評価指標：児童の食育アンケートにおいて肯定的評価をした児童の割合

目標値：85%以上

3 食育の目標に対する具体的な取組

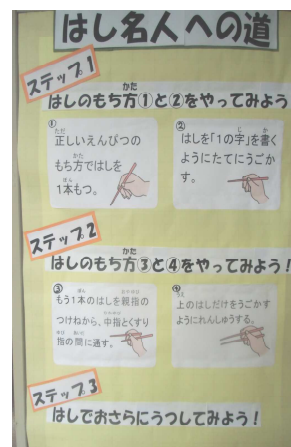
【取組1】（テーマ）給食の時間における食に関する指導

給食時間においては、各学級の様子を見て回り、声かけを行った。火曜日は学級を訪問し配膳指導を行うとともに、一緒に給食を食べて児童の現状や課題を把握した。栄養教諭だけでなく、養護教諭、管理職も訪問し、指導することで多方面から指導を行った。また、3年生を対象に、学年の課題であったきれいに食べるということについて指導した。

【取組2】（テーマ）食育朝会について

5月に食育朝会において、課題である喫食時の姿勢について「なぜ姿勢に気をつけないといけないか」について指導を行った。また、教室に掲示するための掲示物を作成し、各クラスに掲示した。

9月には、生活目標に絡めて、食事のマナーとして箸の持ち方についての朝会を行った。朝会では、養護教諭と連携し、スライドで持ち方の説明をしつつ、菜ばしで正しい箸の持ち方について実演した。その後、「はし名人への道」として掲示物を作成し、はしの持ち方練習コーナーを設置した。



【取組3】(テーマ)「みんなで作ろう!北広島の『夢プロ給食』給食メニューコンテスト」の取組について

今年度で3年目の取組となる北広島町主催のメニューコンテストに、全学年が夏休みの課題として取り組んだ。北広島町でとれる食材「米・大豆・卵・ネギ・キャベツ・ホウレンソウ・トマト・リンゴ」のいずれか1つを使用したメニューが募集され、1月の全国学校給食週間に学校給食で提供し、児童は関心を持って給食を食べていた。児童の中には、家で実際に調理を行った児童もいた。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- 夏季休業中の町内学校給食調理員研修会で、ひろしま給食メニューの調理実習・試食・意見交流を行った。
- 10月の給食でひろしま給食3品を実施した。
- ひろしま100万食プロジェクトの参加を通信で呼びかけた。
- ひろしま給食の実施日に給食試食会を開催し、保護者の方に食べていただくとともに、ひろしま給食について情報発信を行った。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

2学期と3学期の2回行った食育アンケートより児童の変化を見取った。2回目のアンケート結果において、肯定的評価全項目平均においては、84%と1回目を3%上回った。重点目標であったお皿と姿勢については85%と7%向上し、目標を達成することができた。

【課題】

箸の持ち方や姿勢について、児童はきちんとできていると思っているが、実際はできていないところもあるため、引き続き指導を行っていく必要がある。

6 今後の取組に向けた改善方策について

年度当初に、全校児童を対象に箸の持ち方や姿勢について確認する場を設定し、強化週間を設けるなど、児童自ら振り返りができるような取り組みを実施する。

給食試食会を活用し、マナーや姿勢についても保護者の方と課題を共有し、家庭と学校で統一の指導を行い、継続的で効果的な指導を引き続き行う。